

技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画・評価計画

杉並区立杉森中学校

技術・家庭科 目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(例) 知は、知識、技能 意は、思考、表現、判断 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価の方法	小学校との 関連
4 5 6 7	D情報に関する技術 プログラムによる計測・制御 <14時間> ○簡単なプログラムの作成	著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。 情報に関する技術の適切な評価・活用ができる。	情報を扱う際のルールやマナーなどのモラルの必要性を知る。 人権や個人情報を保護するためのルールや利用のしかたについて考える。知的財産を保護する利用のしかたを考える。	国	・計測・制御システムにおける構成や、その中のプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている	授業監察 ワークシート	小学校でのプログラム教育
	知	計測・制御システムにおける構成や、その中のプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 計測・制御システムにおけるインターフェースの必要性についての知識を身に付けている	定期考査 ワークシート				
	意	計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討した上で、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	ワークシート 製作品				
	知	設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる。	ワークシート 製作品				

12 1 2 3	A 材料と加工に関する技術 金属の加工 キーホルダーの製作 <4 時間> ○部品表と工程表 ○けがき ○切断・切削 ○穴あけ ○部品の修正と検査 ○組立てと仕上げ	材料の特徴と利用方法を知 都能够する。 材料に適した加工法を知 り、工具や機器を安全に使 用できる。 材料と加工に関する技術の 適切な評価・活用について 考え都能够する。 使用目的や使用条件に即し た機能と構造について考 える都能够する。 部品加工、組立て及び仕上 げができること。	<ul style="list-style-type: none"> 製作の進め方を理解する。 正確にけがきができる。 正確に切断ができる。 仕上がり寸法線まで金属をけ ずる技術を理解し、正確にけ ず都能够する。 正確に穴を開ける都能够する。 接合の方法と順序を確認し、 製作品の表面や角を仕上げる 技術を知り、正確に仕上げが 能够する。 	主 思	省資源や使用者の安全などに配慮 して設計・製作しようとしている。	授業監察 プリント	図画工作5年生 実習例「自由に 切った形から発 想したものや用 途を考えたもの を作る。」などで の使用する工具 や加工法との関 連
	製作品の使用目的や使用条件を明 確にし、社会的、環境的及び経済 的側面などから材料、用途及び丈 夫さなどを比較・検討した上で、 製作品やその構成部品の適切な形 状と寸法などを決定している。	授業監察 製作図 作品点検 定期考查					
	知	製作図を基にして、材料取り、部 品加工、組立て・接合、仕上げが 能够する。	授業監察 製作図 作品点検				
	知	製作における製作図の必要性につ いての知識を身に付けている。	定期考查 ノート				